

Q BK NEWS

印刷して学生
みなさんで
お読みください！

全国大学生協連
九州ブロック
執筆者：平野昌美
協力：九州国際大学生協
発行日：2025年9月8日

九州国際大学生協 健康フェスタ

第21号
(通算606号)



【健康と安全】

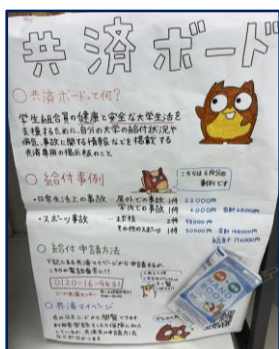
取り組み概要

日時：7月30日（水）14:30～17:00
場所：1号館 フリースペース
参加者数：19人

背景：連帯の場を通して他大学の健康フェスタの取り組みを知り、九州国際大学でも需要があるのではないかと考えたことが企画の始まりです。

POINT.1

コロナ明け初の健康フェスタ！



九州国際大学で、コロナ明け初の健康フェスタが行われました。6つのチェックポイントを回り、全てのスタンプをゲットしたら野菜ジュースまたはお菓子をもらえる**スタンプラリー型の健康フェスタ**です。スタンプラリーにすることにより、**参加者がポスターや共済ボードを素通りするのではなく、時間をかけて見てもらう**ことができました。また、野菜ジュースやお菓子と一緒に共済の手続きの仕方が分かるHANDBOOKを渡すことで、共済加入を促すことができました。

共済ボードは職員さんをお願いをして、給付事例を集めてもらい、給付事例をもとに作成しました。これは、九州共済セミナーでのブースツアーであった「最共ボードを作ろう！」の時間を通して、アイデアを得ました。**九州共済セミナーへ参加したことが活かされた健康フェスタ**となっていました。

POINT.2

保健室の先生からのお便り

保健室の先生をお願いをして、喫煙、禁煙、熱中症についてのお便りを作ってもらいました。お便りは**九国大生のアンケートなどをもとに作られています**。参加した教職員の方が「喫煙率高いよね、、、」とつぶやいていたのが印象的でした。九国大生の現状に寄り添ったお便りによって、**九国大生の健康を見直すことができる機会**になっていました。



POINT.3

参加者に寄り添った対応



流れ作業ではなく、「最近、野菜を食べていますか？」など声をかけて丁寧に対応していました。時には、**参加者1人を30分ほど時間をかけて対応**していました。実際にケガをしている学生が健康フェスタに参加し、**一緒にマイページ登録**をしたところ、学生総合共済に加入していることが分かりました。一人一人と対話をしているからこそ、給付漏れを防ぐことができました。

つながる元気、ときめきキャンパス。



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

ご質問や[Q BK NEWS]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください！
ブロック学生事務局 [平野昌美]
Hirano.Masami@univ.coop